

## 農村振興局長賞（被害防止部門（団体））

GIS（地理情報システム）や集落環境診断などの情報を基に、実施隊と地域住民が連携した定期的なパトロールやサルの追い払い活動等に取り組む。また、市内NPO法人や行政等と連携した研修等を通じ、集落外の都市住民を受け入れ、地域おこし協力隊との連携を図り、継続的な集落体制を実現。

### 上三光<sup>かみさんこう</sup>農村環境保全・清流<sup>せいりゅう</sup>の会

#### 主な取組

（代表：小柳<sup>こやなぎ</sup> 繁<sup>しげる</sup>） 新潟県新発田市<sup>しばたし</sup>

- 平成23年のサル対策を契機に、集落の様々な課題を解消し、「持続可能な農村づくり」を目指す「上三光農村環境保全・清流の会」を設立。
- 当初のGIS（地理情報システム）の活用に加え、近年の集落環境診断結果を基に、緩衝帯の整備や電気柵の保守点検、実施隊と地域住民が連携した定期的なパトロールやサルの追い払い活動等に取り組む。
- また、田植えや稲刈り、案山子づくり等の農業体験、耕作放棄地に設けたビオトープでの生き物調査などにより積極的に都市住民を受け入れつつ、市内NPO法人や市、農協等と共同で、上三光集落を会場とした獣害対策に係る研修会を開催するとともに、地域おこし協力隊との連携を図り、継続的な集落体制を実現。

【川東地区（上三光集落を含む）サルによる農作物被害額

平成27年度：約249万円→平成29年度：約181万円】